

第2回 阪大本番レベル模試・英語（外国語学部以外）

採点基準

大問 I

(A) (20点)

箇所	項目	配点
①	On the surface it is, as the title suggests, a book about tea (表面的には、題名が示すように、それはお茶についての本である)	5
②	but to slot it into 'food and drink' won't work, (しかし、その本を「飲食物」の項目に入れてもうまくいかないだろう)	5
③	because it's also at least as much about (というのも、その本はまた…についても、少なくとも同様に多く関連しているからだ)	4
④	beauty, nature, religion, the relationship between past and present, and how best to live one's life. (美、自然、宗教、過去と現在の間の関係、そして最善の生き方)	6

(B) (20点)

箇所	項目	配点
①	This makes the awakening all the more wonderful and worthy of celebrating. (このせいで、宇宙の目覚めは、さらにより一層素晴らしく、祝福に値するものとなっている)	4
②	It transformed our Universe from a mindless zombie with no self-awareness into a living ecosystem providing self-reflection. (宇宙の目覚めが、自らを意識しない心のない無気力なものから、自らを省みる生きた生態系へと私たちの宇宙を変化させたのだ)	6
③	Had our Universe never awoken, (もし、私たちの宇宙が決して目覚めることがなかったとしたら)	2
④	then, as far as I'm concerned, it would have been completely pointless — merely a gigantic waste of space. (私の考えでは、宇宙はまったく無意味なもの — 単に巨大な空間の無駄 — にすぎなかっただろうに)	8

大問II

設問(2) 5点

箇所	項目	配点
①	with O C の理解	2
②	their parts of the face that stick out (警官の鼻)	2
③	to the ground (地面に近づけて)	1

※①付帯状況の訳出, ②「鼻」の訳出がなくても、「地面のにおいを嗅いで」など状況が理解できていれば可。

設問(3) 10点

箇所	項目	配点
①	「人間の嗅覚の低さ」への言及	7
②	「他の動物との相対性」への言及	3

設問(4) 10点

箇所	項目	配点
①	「(人間の) 色覚の発達」への言及 ⇒ our developed color vision	4
②	「(人間の) 嗅覚」への言及 ⇒ the sense of smell	2
③	「①により②が進まなかった[阻害された]」という因果関係はないことへの言及 ⇒ took the evolutionary pressure off	4

設問(6) 10点

箇所	項目	配点
①	brain's への言及	2
②	plasticity の説明 ⇒ when one function is lost, other functions become more sensitive	8

設問(7) 8点

箇所	項目	配点
①	It is quite natural (～は, ごく当然なことです)	2点
②	for them (嗅覚を失った人が)	2点
③	to be panicked by the loss (においが分からないことだろうばいするのは)	4点

大問Ⅲ

採点の基準

内容

- (1) 政策を2つ以上挙げている場合は(−1.5)。
- (2) 「政策」に言及せず「個人的努力だ」だけを述べたものは、(−1.5)。
- (3) 「政策」を述べているが、続く内容が政策と乖離しているものは、(−1.5)。
- (4) 「科学的イノベーション」のみ述べ、そのための「政策」を述べていないものは、(−1.5)。

語数

- (a) 40語未満：−30点
- (b) 40～59語：−15点

その他

語句レベルで不適切な箇所は、程度に応じて1カ所につき−1，−2点。節レベルの誤りは−4点。

大問Ⅳ

●語句レベルで不適切な箇所は、程度に応じて1カ所につき－1，－2点。

(A) (25点)

区分	配点
①効率性が求められる昨今の風潮からすると	6点
②「そんな妄想が何の役に立つのだ」と言う人もいるでしょう	6点
③しかし、無駄なことを考えるのが人間であり	6点
④それは人間という動物にだけ許された特権でもあるのです	7点

(B) (イ) (25点)

区分	配点
①例えば、「食事の後にやろう」という言葉には、「今はしたくない」という強い拒否感が潜んでいる	5点
②だから特定の時まで行動を先延ばしにすることは	4点
③表向きにはいくら変化を望むと言っても	4点
④内心変化したくないと言っているに等しいのである	4点
⑤そのため、いざ実行すべき時になると	4点
⑥その行動はさらに明日、そして来年に延ばされることになるのだ	4点

(B) (ロ) (25点)

区分	配点
①自分が SNS で発信する日本語の内容を全てベトナム語に翻訳して上司に提出しています	7点
②さらに、同僚からの夕食の誘いを断ることはめったにありませんし、	6点
③できる限り彼らと時間を共にするよう努めています	6点
④オンオフにとらわれず、コミュニケーションをとることは大切だと感じています	6点